



主な内容

萩・明治維新 150 年記念式典、特別講演	P2
蔚山広域市姉妹都市締結 50 周年記念式	P3
産業再生元年、イージス・アショア	P4
萩商工野球部、萩・明倫学舎入場者 50 万人	P5
ズームアップ 井上勝重 (東京都)	P6
萩市ビジネスプランコンテスト	P8
シリーズ 萩の夜を楽しむ②	P9

萩光塩学院高等学校書道部は、各地の祭りやイベントに参加し、書道パフォーマンスを通して書道の魅力を広めている活動が評価され、平成 30 年度「萩市教育文化奨励賞」の特別賞を受賞した。2018 年は、萩・明治維新 150 年記念式典、萩市と蔚山広域市 (韓国) の姉妹都市締結 50 周年記念行事、山口ゆめ花博などに出演し、多くの人に感動を与えた。部員 14 人は「一致団結」をモットーに、顧問の佐川三重子先生の指導の下、書道パフォーマンス甲子園の出場を目標に練習に励んでいる。

第 145 号 2019 年 1 月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

MAIL hagi-network@city.hagi.lg.jp

写真／中原洋士 (萩市江向)

萩光塩学院高校書道部 書道パフォーマンス



明治維新150年記念式典を開催

次代を担う人づくりと新しいまちづくりに挑戦

明治改元から150年の節目となった10月23日、「萩・明治維新150年記念式典」が萩市民館で開催され、県内外から約1000人が出席した。

藤道健二萩市長は、吉田松陰が残した「夢なき者に成功なし」の言葉を紹介し、「長州ファイブをはじめとする多くの先人の志に思いをはせ、次代を担う人づくりと前例にとらわれることなく、新しいまちづくりに果敢に挑戦していく。夢を持つ人材を育成することが使命」と式辞を述べた。



式辞を述べる藤道萩市長



式典であいさつする長州藩士や志士の子孫

来賓を代表して村岡嗣政山口県知事は「今は幕末や明治に重なる激動の時代。先人の行動に学び、立ち向かっていきたい」とあいさつした。

維新ゆかりの偉人のご子孫として、長州藩主の毛利家子孫の毛利元敦さん（防府市）や、幕末の志士では初代群馬県令を務めた榎取素彦子孫の榎取能彦さん（東京都）、鉄道の父と呼ばれた井上勝子孫の井上勝重さん（東京都）、松下村塾の双壁と呼ばれた久坂玄瑞子孫の久坂佳照さん（福岡県）が出席し、式典で紹介された。



講演する京大の山中伸弥教授

戊辰戦争の犠牲者を慰霊する盆踊り・白河踊りが兵士を通じて山口県に伝えられた縁で福島県白河市の鈴木夫市長も出席した。

市の事業で英国に語学研修で派遣された中学生「長州ファイブジュニア」の5人が英語で研修成果を発表した。小中学生が「自分の志」をテーマにした作文の表彰や萩光塩学院高校書道部による書道パフォーマンスなども行われた。

ノーベル賞・山中伸弥教授の記念講演
ビジョン・アンド・ワーク
ハード

iPS細胞の開発でノーベル賞を受賞した山中伸弥教授は、「海外にはすごい人がたくさんいる。自分の視野を深めるために、世界のできるだけ多くの人と知り合うには語学力（英語）が必要」と呼びかけ、「新しい薬をつくっただけでは成功とはいえない。低コストで誰にでも提供できるようにしていきたい」と満員の聴衆に語った。

*山中伸弥教授の講演は、NHKラジオ第2放送「文化講演会」にて放送の予定です。

放送日時 1月6日（日）午後9時～10時、12日（土）6時～7時

理学・医学賞を受賞した京都大学の山中伸弥教授が、記念講演として「私の修業時代―未来を切り拓く力」をテーマに講演した。将来へのビジョン（目標）を持つことや英語力を身につける大切さを訴えた。

31歳で海外留学した際、恩師から研究者として成功するため「しっかりとビジョン（目標）を持って、ワークハードをすれば間違いなく成功するとアドバイスされた。私にとってのビジョンは、努力していい論文を書くことではなく、医学の道で病気を克服することだと気づいた。自分が何のために努力しているのか、ビジョンを大切にしてほしい」と訴えた。

また、英会話に苦労したエピソードを交えながら、「海外にはすごい人がたくさんいる。自分の視野を深めるために、世界のできるだけ多くの人と知り合うには語学力（英語）が必要」と呼びかけ、「新しい薬をつくっただけでは成功とはいえない。低コストで誰にでも提供できるようにしていきたい」と満員の聴衆に語った。

シドニー五輪女子マラソンの金メダリスト、高橋尚子さんが12月15日に萩市民館でトークショー、16日の「維新の里 萩城下町マラソン」のゲストランナーとして、ハーフマラソンを走った。

トークショーでは、ランナーに對して、上り坂では目線を下げて地面を見ることが、苦しいときは腕をしっかり振ることなどのアドバイスがあった。練習では少しのことを積み重ね、続けることで人生が変わってくる。諦めなかったことが、今につながっている。

マラソンの魅力は、走っている間は自分と向き合っていて、悩んでもポジティブになれることと話した。

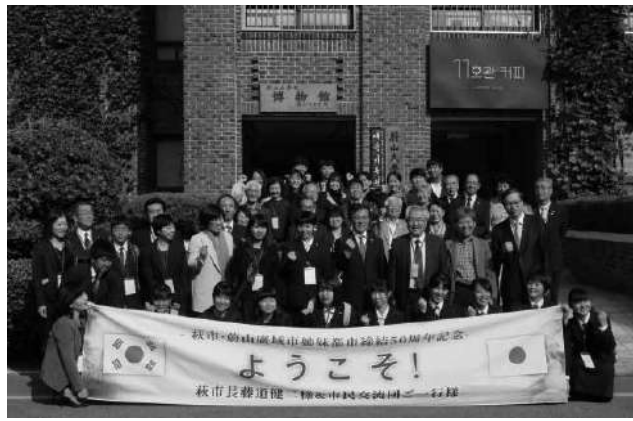
金メダリスト・高橋尚子さんのトークショー 走り続ける中で



トークショーでエピソードを語る高橋尚子さん

萩・蔚山 姉妹都市締結50周年記念式に参加

日韓初の姉妹都市締結から半世紀



蔚山大学校博物館訪問

記念式では、これまでの半世紀に及ぶ交流を記念して、両市長の祝辞、50年の交流にかかる映像上映、蔚山市立舞踊団の公演や萩光塩学院高校書道部による書道パフォーマンスなどが行われた。

蔚山広域市の宋哲鎬市長は「今や日韓両国では160を超える姉妹都市締結、1千万人以上の国民が相互往来する時代となり、国家レベルの交流から地方同士の交流へと深化している。地方レベルの交流へと広げる先導役として両市は交流を深めてきた」とあいさつ。

萩市の藤道市長は「今回の訪問団39人のうち、13人は中学生の若者である。今回の交流をきっかけに、新たな分野への交流の輪の広がりが、次代を担う若者たちが今後の交流の一翼を担ってくれることを期待している」とあいさつした。

訪問団は、経済団体代表者による意見交換や、蔚山外国語高等学校などの学校訪問、現代自動車蔚山工場、クジラ博物館を訪問した。

岡弘さんに感謝状

記念式において、蔚山広域市名



岡弘さん(左)への感謝状の贈呈

誉諮問官(萩地区日韓親善協会会長)の岡弘さん(77歳、細工町)に、蔚山広域市長から、これまでの交流に対する貢献に対して感謝状が贈呈された。

蔚山広域市のボランティア団体や学生らのホームステイ受け入れなどを続けている岡さんは、「日韓の民間で協力し合っているように、これからも無理をせずに自然体で交流を続けていきたい」と話している。

■蔚山広域市

朝鮮半島東南部に位置し、古来より朝鮮半島と世界を結ぶ海上交易の拠点として栄えた。自動車工業、造船、石油化学産業を中心と

した韓国最大の重工業都市。当時の人口9万6000人が、今では約118万人の巨大都市となっている。



萩光塩学院高校の書道パフォーマンス

萩光塩書道部・末武里梨部長に聞きました

式典で披露した書道パフォーマンスのテーマは「友好の絆」で、蔚山と萩の関係がこれからもずっと続いてほしいという思いで、紙面いっぱい思いきり表現しました。

多くの方々が感動してくださり、本当に嬉しく感激しました。日本の伝統文化である静と動の書を韓国のように多くの方々知っていただきたいと思います。また、韓国の伝統衣装チマチョゴリを着

て、パフォーマンスができたことはいい思い出になりました。蔚山広域市の中学生との交流では、歌やダンス、学校紹介などで温かく、楽しく歓迎してくださいました。

蔚山外国語高等学校では、日本語学科の生徒たちとの交流があり、みんな私たちと同じくらい日本語が上手で驚きました。日本の高校生よりフレンドリーで、話しやすいと思いました。

蔚山と萩の友好がいつまでも途切れることがないように願っています。



参加した萩光塩学院高校書道部3年生 左から末武里梨(南古萩) 小野舞夕(阿武町) 中村椿花(越ヶ浜) 野村詩乃(川島)

産業再生元年 東京の2社と進出協定・工場増設の協定を締結

萩市では2018年を「産業再生元年」と位置づけ、地域産業の振興や起業・創業、企業誘致の更なる促進に取り組んでいる。若者の流出が続いている萩市では、

雇用の場の創出を目指して、企業誘致や地場産業の活性化に力を入れている。

ネット会社がサテライトオフィスを開設 民泊事業も

インターネットサービス事業を展開するボルスター（本社・東京都港区）が19年1月、萩市椿東上野台の空き家を改修してサテライトオフィスを開設する。10月18日、萩市と進出協定を結んだ。

ボルスターは、家族に特化したウェブサービスを展開し、資本金約1億1300万円、従業員は13人。空き家は木造平屋の約130平方メートル。一部をオフィスとして利用するほか、民泊事業も行う予定。今後5年間で10人程度の地元雇用を計画している。

松田忠浩社長（43歳）は「県や市の職員が誘致に熱心で、自分も萩の町が好きになって進出を決めた。新しく始める民泊事業を、萩から全国展開していきたい」と意気込んでいます。

藤道萩市長は「時間・場所の制約が少ないIT企業は、雇用・産業活性化の切り札。今後もサテライトオフィスの積極的な誘致を図りたい」と話している。

山城精機が工場増設

精密機器メーカーの山城精機製作所（本社・東京都豊島区）が、萩市椿沖原の山口事業所の工場を増設し、19年1月の操業開始を予定している。8月27日、萩市と協定を結んだ。

山城精機製作所は縦型射出成形機を主力製品として、顧客のニーズに応じて設計からオーダーメイドで製造している。資本金は6000万円、従業員は82人。

近年、企業の省力化を背景に大型で特殊なプラスチック成形機の受注が増えており、敷地内に増設する。増設分の敷地面積は約550平方メートル。設備投資額は約2億円で、新たに5人の地元雇用を予定している。

兵部匡俊社長（44歳）は「1956年に阿武町出身の堀勇夫氏が創業。山口県出身で、茨城県で修業したことから『山城』と名付けた。小さいながらも特徴のある会社として頑張っていきたい」とあいさつした。

藤道萩市長は「民間企業の活力なくして地方の再生はない。市も全面的にバックアップしていきたい」と話した。

イージス・アショア

萩市と阿武町で適地調査が始まる

防衛省中国四国防衛局は、地上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備計画を巡り、配備候補地の陸上自衛隊むつみ演習場近くの萩市むつみ地域で10月29日から、阿武町福賀地区で11月8日から適地調査を開始した。

調査の結果を19年3月末までに取りまとめ、4月以降に公表する予定。

■地質・測量調査

演習場周辺は農村地域のため、工事による水源や農畜産物への影響を懸念する住民も多い。防衛省は地盤の強度や地質を調べるボーリング調査の開始前に、地質調査の一つである周辺の水源や湧水地の水量・水質を確認する水文調査を実施するほか、地域の一般家庭を訪問し、井戸水の水質調査への協力を呼びかけている。

12月6日からは、むつみ演習場でボーリング調査を開始した。約15メートルの深さまで掘削、1月20日頃までに演習場内の32カ所で実施する予定。一連の地質調査の中核となる。

■適地調査は容認

今後、リーダーによる電磁波の影響を調べる電波環境調査も行われる予定。

萩市の藤道健二市長、阿武町の花田憲彦町長とも、適地調査を容認している。

藤道市長は9月萩市議会定例会で、「適地調査は、イージス・アショアの配備を前提としたものではなく、適地かどうかを調査するものであり、配備による周辺環境への影響の有無について、具体的に住民に説明するためにも必要である。適地調査の実施が配備決定につながるものではなく、住民の一定の理解がなければ、調査の次の段階へは進んでもらいたくない」と適地調査を容認する意向を表明している。



ボーリング調査の様子



山城精機製作所の兵部匡俊社長（左）



ボルスターの松田忠浩社長（左）

萩観光のゲートウェイ「萩・明倫学舎」の入場者が50万人

2017年3月4日に開館した「萩・明倫学舎」の入場者が、11月15日に50万人を突破した。オープンから約1年8カ月となる。50万人目は京都市の高橋雅博さん夫妻で、「小学校を改築した施設で、昔に戻ったような気持ちになった」と笑顔をを見せていた。

藤道萩市長は「観光起点として定着しつつある。萩観光のゲートウェイ（玄関口）として、ここに来れば萩市全域のより幅広い情報が得られる。萩地域の中心的な場所に人が集まり、町の中心部が活

気づいてほしい」と話している。

明倫学舎は、戦前の昭和10年に建てられた明倫小学校の木造校舎を改装してオープンした。江戸時代の藩校「明倫館」跡地にあり、観光起点の機能を果たしている。



50万人目の来場者と藤道市長(左)

旧明倫小3・4号棟活用案 萩市民アンケート調査を実施

萩市江向の観光施設「萩・明倫学舎」北側の、未整備で老朽化が進む旧明倫小学校3・4号棟のあり方について、建物活用・現状保存・跡地活用を含めて、萩市民3千人を対象にアンケートを行い、民意を確認する。

- ① 店舗、貸教室などに整備する。
- ② 1棟を整備し、1棟は保存のみとして、民間からの投資や提案を待つ活用を検討する。
- ③ 2棟とも保存のみして活用を検討。
- ④ 解体後に発掘調査を行い、藩校遺構広場などに整備する。
- ⑤ 発掘調査はせずに、駐車場や芝生広場などに整備。

担当する萩市産業戦略室では、18年7・8月に両棟の整備のあり方について意見募集を行い、これらを参考に、両棟を残し建物活用・現状保存が3案、解体し跡地活用が2案の活用案5案をまとめた。

なお、意見募集では提出のあった萩市内外の延べ295人のうち、8割以上が建物の存続による活用案を提出していた。

アンケート対象者は、萩市の住民基本台帳の18歳以上約4万2千人から3千人を、地域別・年代別の人口割合に応じて無作為に抽出して決定する。19年1月に発送、2月の締め切り。19年3月までに、市長が総合的に判断して方針を決める。

■アンケート案

- 建物を残す案は、
- ① 2棟を産業、ひとつくり、交流の3ゾーンに分け、貸事務所、貸



旧明倫小学校の4棟

萩商工野球部が春の選抜大会「21世紀枠」の山口県推薦校に

山口県高野連は11月12日、来春の第91回選抜高校野球大会の「21世紀枠」山口県推薦校に、萩商工高校を選出した。16日には同校で推薦決定の表彰式が行われた。

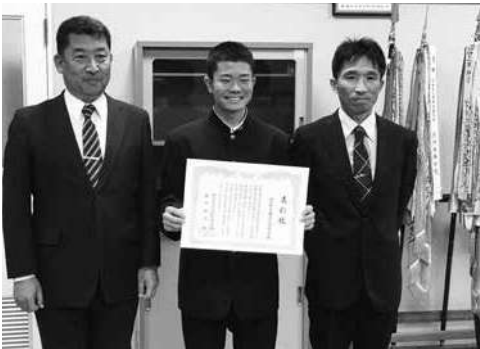
萩商工高校は2006（平成18）年に萩商業と萩工業が統合して開校。統合前の1973（昭和48）年に、萩商業高校が夏の甲子園（選手権大会）に初出場している。県推薦校には初めて選ばれた。

18年の秋季中国地区大会県予選で、強豪校を破り36年ぶりにベスト8進出を果たし、準々決勝で惜

敗した。

現在の部員は27人、18年の新入部員は18人と近年最多だった。短い練習時間やラグビー部など他部と共同でグラウンドを使うなど限られた練習環境のなかで工夫している点が評価された。また、学校周辺の清掃や地域行事に積極的に参加するなど、地域貢献活動も評価された。

21世紀枠は、秋季県大会のベスト16以上を対象で、困難な練習環境の克服、創意工夫した練習、地域での活動などが評価される。「21世紀枠」の全国各地の候



左から宮村和幸校長、森優大主将、藤村克明部長

補校9校が12月14日に発表され、萩商工高校は中国地区5校の中から残念ながら選ばれなかった。

「鉄道の父」井上勝の曾孫

井上勝重さん

(東京都港区在住、74歳)

萩・明治維新150年記念に寄せて



東京駅丸の内北口の井上勝銅像



明治維新150年式典での井上勝重さん

が皆様や鉄道を愛好する方々から寄せられるようになり、井上勝に関する行事があると私はたびたび萩にお邪魔するようになりました。

井上勝銅像の変遷

井上勝の初代の銅像は1914(大正3)年12月に東京駅前に建てられました。しかし44年(昭和19)の戦時金属回収運動によって撤収(いつぶ)潰され、それから十数年は台座のみが雨風にさらされていたようです。その後井上勝の没後50周年にあたり銅像復活の議が起り、59年(昭和34)10月、国鉄本社敷地内(現在の東京駅丸の内北口オアゾ敷地)に元の台座が移され、二代目の銅像が建てられました。

銅像台座の飾り石

そしてしばらくの間、銅像は倉庫で保管されてきました。この時から初代銅像の台座四面につけられていた石飾りは外されました。この飾り石は萩市が譲り受け、現在萩駅内の「歴史展示館」に移送展示されているのでご存知の方もおられると思います。

この中の一つに、動輪とつるはしと井桁のような枕木が彫られているものがあります。動輪は汽車や列車を動かす人、つるはしはレールやトンネルなど線路を保守維持管理する人、枕木は事務職・駅員やお客様を支える人を表しているとの事です。「この三つに人々が互いに協力し支援することがあってこそ、鉄道は安全正確に動き発展するのだ」と勝は常々言っていたそうです。



初代銅像の飾り石(萩駅内の歴史展示館)

東京駅前に銅像が復活

そして2016年の10月に萩市民の皆様のご援助ご協力により、英国留学時代のシャベルを持った姿を「井上勝士気像」として萩駅前に建立して頂きました。

また17年の12月には萩の皆様をはじめ皆様の強い要請のお蔭で、東京駅前広場丸の内北口北西端(オアゾ・新丸ビル近く)に、東京駅百周年記念で綺麗に修理復元された東京駅駅舎を見守る向き

先日の「萩・明治維新150年記念式典」に、長州五傑の一人井上勝(野村弥吉)の子孫としてお招きいただきありがとうございます。記念式典や山中伸弥教授の記念講演では有意義な時間を過ごさせていただきました。

私は常々父より、祖父の井上勝は日本で最初に鉄道を新橋と横浜間に開通させたが、それは勝の功績であって子孫の我々が自慢することではないと言われておりました。しかし「井上勝の銅像はその後どうなっているか」などの話題

駅正面広場や丸の内南口前広場に、東京駅に背を向け皇居を向くような形で数回移築されました。(勝の墓は品川東海寺の大山墓地にあります)が皇居に向けて建っています。

に「井上勝の三代目銅像」を建てて頂きました。その後色々な方々から井上勝の銅像が帰ってきてよかったですと言葉をかけていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。明治の初めに曾祖父井上勝が萩から東京にお墓とともに引越して来てしまったので、萩への想いは複雑な気持ちになっています。でも父や私達家族は心の中では長州萩は強く故郷のように感じております。萩に訪れた際に接してくださる皆様の心からの温かい対応でそう思ってしまうのかもしれない。

プロフィール

生年月日：1944(昭和19)年11月
出身地：東京(出生は仙台市)
現住所：東京都港区赤坂
学歴：職歴：学習院大学卒業、学習院中等科教員、龍ヶ崎つばめ保育園副施設長、東京山王ロータリークラブ初代会長

道の駅・萩往還 農産物直売所

なないろ
菜々色マルシエ通信 「鬼ほっぺ」

心を満たす一粒

大粒でしつかりとした食感と同時に口いっぱい溢れる果汁。甘くふくよかな香りの余韻はゆつくりと広がり、たった一粒で心まで満たされる。

「鬼ほっぺ」とは、「鬼のほっぺも落ちるほどおいしい」との例えから、当駅で命名・ブランド化した特別なイチゴ。今ではリピート購入率ナンバーワンの人気商品です。

エリート農家自らの厳選

生産者の八道勝江さんはこの道40年以上のイチゴ作りのプロ中のプロ。最良のイチゴを作るためには一切の手間を惜しまない、萩のエリート農家のお一人です。

「鬼ほっぺ」になれるイチゴは、生産者自ら収穫のベストなタイミングを見極め、大きさ・品質ともに「これは！」と認めた最上級のイチゴだけ。50程もあるハウスの長い畝から、一度の収穫で数粒しか取れない希少品です。

「摘みたて」にもこだわる

収穫は毎朝、朝日が昇るのと同じ時に開始され、午前中には摘みた

てのイチゴが店頭に並びます。ピンとそり返ったみずみずしいへたと濃く美しいルビー色の果肉は、完熟で新鮮な証拠です。

生産者の高い技術とおいしいものを届けたいという熱い思いの結果。摘みたての「鬼ほっぺ」を食べに萩へ。そんな旅行も良いかもしれませんね。

道の駅萩往還

(0838・22・9889)

WEB「道の駅萩往還」で検索
全国発送いたします。



道の駅萩往還「鬼ほっぺ」(15粒程度入) 1620円

粒程度入) 1620円

発送の場合は「鬼ほっぺ特選」

(15粒入) 2700円のみ

道の駅・萩しーまーと通信 旬のお魚「萩産天然ぶり」

正月に欠かせない出世魚

萩の年末年始にかかせない魚といえばブリ。養殖が多く出回っていますが、本来の天然ものは旧暦の師走頃に旬を迎えます。この時期に味わいが良くなることから、「ブリ」を漢字で魚へんに師と書きます。特に西日本では初ブリをお歳暮に用いる慣習があります。

また、お正月料理にも欠かすことができない魚で重要な役割を果たす存在です。一方、東日本ではこれが異なり、西日本のブリ、東日本のサケと、年取り魚が東西で分かれます。

ブリは成長するにつれて呼び名が変わる出世魚です。萩で暮らしている「ヤズ」や「メジ」といった魚の名前を耳にしますが、これらは全部同じ魚。萩ではブリの幼魚を「もじゃこ」、30センチほどの大きさを「ワカナ」、50センチほどの大きさを「ヤズ」、70センチほどの大きさを「メジ」、それ以上の大きさを「ブリ」と呼んでいます。

刺身と寿司がオススメ

典型的な回遊魚であるブリは春から夏にかけて日本列島に沿って北上し、秋から冬にかけて南下し

ます。萩沖では定置網や刺し網、釣りなどの漁法で漁獲されます。秋は成長途中のヤズやメジ程度の大きさのものが萩魚市場に多く水揚げされますが、12月頃には、およそ7kg以上、成長した天然のブリが萩の市場に増えてきます。

サイズも大きく脂のりが一段とよい天然のブリを味わうには刺身と寿司がおすすめです。冬の日本海で獲れる天然もののブリは脂のり、旨みが抜群。新鮮なものは臭みがなく食感も楽しめます。周りを少し炙った状態にするともろやかさが加わり上質な身を引き立てます。

ひと回り小さな大きさのヤズやメジは脂があっさりしています。刺身や塩焼きにしてもおいしく食べることができ、たれを加えて照焼きに調理すると、歯触り、食感はブリにもひけをとらず、食べごたえのある一品に仕上がります。

冬ならではの味わい方では、アラと大根と一緒に煮てブリのだしをよくしみこませたブリ大根や、根菜をたっぶり入れたブリの粕汁が定番料理として知られています。萩の魚は新鮮だけでなく、季節を感じさせてくれるところも魅力です。

道の駅萩しーまーと
(0838・24・4937)



初めて開催「萩市ビジネスプランコンテスト」 優秀賞は「ピクルス専門学校」プロジェクト

新規起業や新分野への事業拡大を目指した「萩市ビジネスプランコンテスト」の最終選考会が10月28日に開かれ、1000万円が贈られる最優秀賞の該当はなく、優秀賞1件（30万円）、奨励賞3件（各10万円）が選ばれた。

コンテストは萩市と萩青年会議所（田村卓巳理事長）、萩山口信用金庫などをつくる協議会の主催。

新規起業部門で優秀賞と奨励賞



優秀賞に選ばれた椋木章雄さん(右)

今回のコンテストには14件の応募があり、新規起業部門4件、新分野進出部門4件、計8件のビジネスプランが最終選考会（公開プレゼンテーション）に臨んだ。

新規起業部門において、合同会社JINRI（本社山口市）代表の椋木章雄さんの『日本初「ピクルス専門学校」プロジェクト』が優秀賞を受賞した。

椋木さん（山口市、萩市南古萩出身、本紙17年1月号で紹介）が全くの素人から始めた「萩野菜ピクルス」の製造・販売のノウハウ

のすべてを短期間でマスターできるといふもので、ピクルスの製造だけでなく、商品の撮影方法やホームページの作り方、マーケティング手法、販路拡大の手法、広告宣伝の方法などで構成されるカリキュラムを提供するもの。

同部門で奨励賞を受賞したのは、台湾から応募のあった戸倉恒信さんの『無垢箸でWasokuする町ー萩の創造』で、すでに日本で実用新案意匠登録申請をしている『両口箸袋』を無垢箸に着せ、萩市の観光とインバウンドを刺激したいというプラン。

新分野進出部門の奨励賞

新分野進出部門では2件が奨励



奨励章に選ばれた戸倉恒信さん



奨励章に選ばれた秋本崇仁さん

賞を受賞した。

岡藤史沙さん（萩市椿東）の『RSARISA〜魔法の技術者〜』は、メデイカルアロマを使用したヘッドスパやハンドマッサージで心と身体の癒し、和と洋をコラボしたハイブリット（異なる種類）の着物・袴（はかま）を提供することによる萩の観光の活性化プラン。

秋本崇仁さん（萩市椿）の『プリのオーリーブオイル漬け商品の製造販売事業』は、魚の長期保存と加工と販路拡大で、雇用創出と魚食普及を目指す。

参加者からは「受賞はできなかったけど、いろんな方に自分の



奨励章に選ばれた岡藤史沙さん

ビジネスプランを見てもいい、意見をいただいたことを今後の事業展開に生かしたい」などの声があった。

萩青年会議所・田村理事長に聞きました

ビジネスプランコンテストを萩市に提言したのは、人口減少に伴い地域経済の器がしぼむ萩市において、外貨を稼ぎ、地域を牽引できる規模の大きなニュービジネス創出の可能性を模索するべきではないか、と思ったからです。

2カ月という短期間の募集でしたが、注目を集めた要因としては、協議会に加わった萩山口信用金庫の創業支援の一つとして紹介していただいたこと、審査員に元ヤフー株式会社CEO喜多埜裕明氏のような著名な方をお招きすることができたことなどがあると感じています。

最優秀賞なしの結果は、前向きに捉えれば、外部審査員の厳しい目には、地域経済を好転させる可能性がまだ足りないと思われ、受け止めることができ、このコンテストに一つの基準ができたことも良かったのではないかと思います。

今回の試みが、まちの発展を行政任せにするのではなく、民間から提案し、行政と民間が協働し取り組んでいく新たなモデルケースとなればと思います。

萩市を中心に
ビジネスがまわります！

HaBu-Con

萩市ビジネスプランコンテスト2018

【萩市ビジネスプランコンテスト】（※対してハブコン）では、
最優秀賞の活躍や最優秀賞を贈るために、
市内や県内、はたまた世界に向けた「最優秀」のビジネスアイデアを募集しています！

開催期間 **7月9日(月)～9月14日(金)**

① 新規起業部門 ② 学生ビジネスプランコンテスト
③ 新分野進出部門

賞金額
最優秀賞 **100万円** 優秀賞 **30万円** 奨励賞 **10万円×2**

2018年10月28日(日) 10:00～12:00
13:00～16:00

居酒屋 ふじ



MAP 17

- ¥ 一品300円～、ビール500円、酒400円、焼酎300円、ウイスキー400円
- Ⓘ 14:00～22:00
- 席 カウンター/6席、座敷/10席
- 住 萩市上五間町 休 不定休

● 仲間同士、
● 家族的な
● 楽しいお店

TEL 0838-25-6331

キャッツアイ



MAP 18

- ¥ 3,000円 (2時間) ※軽い食事でもできます。
- Ⓘ 23:00～5:00
- 席 15席
- 住 萩市下五間町46 休 不定休

● 夜中でも
● 女性一人で
● 行ける店

TEL 0838-25-9383

スナック エンゼル



MAP 19

- ¥ 60分2,000円
- Ⓘ 19:00～24:00
- 席 12席
- 住 萩市東田町121
- 休 なし

● 楽しく
● 歌いましょう
● (ナレーションつき)

カラオケ

TEL 0838-22-1978

MIYABI



MAP 20

- ¥ 60分3,000円 女性60分2,000円
- Ⓘ 20:00～24:00
- 席 45席
- 住 萩市東田町112-1ワールドビル1F 休 火曜 カラオケ

● 静かな雰囲気
● でゆっくりとし
● た時間をすごし
● ませんか

TEL 0838-21-7187

まさ



MAP 21

- ¥ 2時間 3,000円
- Ⓘ 20:00～1:00
- 席 15席
- 住 萩市東田町112-1ワールドビル2F
- 休 なし

● カラオケの
● 好きな方
● 大歓迎

カラオケ

TEL 0838-26-8851

スナック あゆみ



MAP 22

- ¥ 2,000円～
- Ⓘ 19:00～1:00
- 席 20席
- 住 萩市下五間町48
- 休 日曜

● やっぱり
● 熟女好きに…

カラオケ

TEL 0838-26-8688

ミシェル



MAP 26

- ¥ 90分3,000円
- Ⓘ 20:00～ラスト
- 席 カウンター/10席、ボックス/10席
- 住 萩市東田町中村会館1F 休 不定休

● 男女問わずリラックス
● できます!お気軽に
● お電話ください!

TEL 090-7595-5225

スナック 由美



MAP 23

- ¥ 60分2,500円～
- Ⓘ 20:00～1:00
- 席 19席
- 住 萩市下五間町48
- 休 日曜

● ゆっくり落ち
● 着いて飲める
● お店です

カラオケ

TEL 0838-26-0210

スナック LEMON



MAP 24

- ¥ 60分2,500円～
- Ⓘ 18:30～24:00
- 席 カウンター/10席、ボックス/5席
- 住 萩市下五間町 休 なし

● カラオケの得点
● でキャラクター
● ゲッツを進呈

カラオケ

TEL 0838-22-9192

ぽとす



MAP 25

- ¥ 60分2,500円～
- Ⓘ 19:30～1:00
- 席 カウンター/9席、ボックス/6席
- 住 萩市下五間町48 休 月曜

● 安心して
● ゆっくり
● 飲めます

TEL 0838-26-3553

シリーズ
萩の夜を愉しむ

(五間町・東田町)

②

路地のネオンに灯りがともれば、
萩の隠れた魅力が顔を出す
※「マップ」入りのパンフレットを希望者
に郵送します。

「明治維新前夜」萩藩永代家老益田親施と家臣たちの戦い」開催に寄せて

重田麻紀（慶應義塾福澤研究センター 研究囑託）

2018年9月22日から19年3月31日まで、萩市須佐歴史民俗資料館「みこと館」では、企画展「明治維新前夜」萩藩永代家老益田親施と家臣たちの戦い」を開催している。展示を監修させていただいた立場から、簡単ではあるが内容を紹介したい。

なぜ「維新前夜」なのか

資料館のある須佐は、関ヶ原の戦いの後、毛利家の永代家老となった益田家が、江戸時代を通じて本拠とした場所であり、そこには益田家とその家臣（陪臣）・領民たちの連綿と続く歴史があった。しかし、「江戸時代の益田家」というと、大多数の人が思い浮かべるのが、「禁門の変の責任を取り切腹した悲劇の三家老の一人」としての「益田親施」ではないだろうか。確かに親施公の最期は悲しいものだった。ただ、それが彼そして益田家の全てではない。親施公は家督相続直後から重職を勤めた。総奉行となり江戸湾の警備に向き、さらに家老として

高杉晋作らの志士を取りまとめる役目も果たした。また、領地の須佐地域では家臣たちが親施公を支えるために活動した。本展示は、親施公の最期だけではなく、生涯を通じての活動や領地の様子、そして近世の益田家そのものについて展示をし、そのうえで親施公を再認識していただきたいという思いを込めてあえて「明治維新前夜」とした。

近世から近代の益田家の歴史

展示は、石見国から須佐へ移った益田家の位置づけと、1万2千石余を有した領主としての役割の紹介からスタートする。益田分家から発見された新出の中世文書も原本を展示している。親施公のコーナーでは、館蔵の資料に加えて、益田本家から「寄贈いただいた遺品の数々（産着、硯など）を展示。また、家臣についても、年貢徴収のための絵図面、親施公に命じられ京都に潜伏していた家臣（河上範三）の書状などをテーマごとに展示し、多くは初公開のものである。

さらに、「須佐市中細見図」という町割が描かれた絵図のパネルを用い、現在の場所と比較できるようなコーナーも設けている。近世から近代にいたる益田家の歴史を、歴史ファンにはもちろん、須佐地域の人々に親しんでもらえる展示になったのではないかと自負している。

修復された「四季花鳥図」屏風

展示のオープニングでは、益田本家（益田昌史・路子夫妻）から萩市へ、「四季花鳥図」屏風が寄贈された。この屏風は、2013（平成25）年豪雨災害により被災、大きく破損した。なんとか屏風を残したいと願う、須佐出身の「東

京須佐弥寅会」有志によるご芳志がきっかけとなり、募金活動がはじまり、多くの賛同者を得て修復がなされ、今回修復後初公開している。益田家のお抱え絵師の雲谷派永寛等様作（推定）による美しい屏風は圧巻である。企画展とあわせてご覧いただきたい。

まだ展示にお越しでない方は、3月31日までにみこと館まで是非お出かけいただきたい。そして、須佐の街並みを歩き江戸時代に思いを馳せ、名産の須佐男命いかを食して、知的好奇心だけではなく胃袋も満たして帰っていただければ幸いである。

須佐歴史民俗資料館「みこと館」

萩市須佐 4441-10
9:00～16:30
休館日 月曜・年末年始
入館料 大人310円、子ども150円
(0838763916)



益田親施肖像画
(須佐歴史民俗資料館蔵)



修復後初公開された「四季花鳥図」(益田本家より萩市へ寄贈)

萩・明倫学舎通信

小学生時代にタイムスリップ — 明倫小学校展示室

明倫小学校は明治18年(1885)に、萩の三角州内にあった10校を統合し、藩校明倫館跡地に開校しました。

萩・明倫学舎の本館2階「明倫小学校展示室」では明倫小学校の歴史を紹介しています。昭和33年には、生徒数が3092人を記録しており、その頃の運動会の写真や動画を見ることが出来ます。1学年500人超えの運動会、想像できますか？他にも、明治時代の卒業証書や、昭和30年代の「こくご」や「さんすう」の教科書(複製)などが展示されています。

明倫小学校といえば、朝礼で行う松陰先生のことばの朗唱が有名です。朗唱教育として始



昭和30年代の運動会の映像



アルミ製の給食食器

まったのは、昭和56年(1981年)からだそうです。卒業までに18のことばを履修し、そのなかには「親思うところにもまざる親心」や「至誠にして動かざるものは未だこれあらざるなり」など、あまりに有名な一節もこの朗唱で学びます。

さて話を明倫学舎の展示に戻し、この部屋の展示で人気があるのは、学校給食で使用されていたアルミ製の食器です。他にも上靴や謄写版など、この部屋の展示物で懐古する物によって年代がばれてしまったり、地域差が分かったり、と大盛り上がりです。

この部屋には、明倫小学校で約130年間脈々と受け継がれてきた歴史や思い出がぎゅっと詰まっています。きつと、自分の小学生時代にタイムスリップすることが出来ますよ。

■NPO 萩明倫学舎
(0838・21・0304)

阿武町だより

住み慣れた地域で暮らし続ける 福賀地区に高齢者福祉複合施設「いらお苑」がオープン

山間部の積雪地域や高齢者が多い地域でありながら、デイサービス以外の他のサービスがなく、在宅生活を余儀なくされていた福賀地区。地域住民からも福祉施設の整備が強く要望され、「阿武町高齢者介護福祉計画(第6次計画)」

に盛り込まれた高齢者福祉複合施設「いらお苑」が完成、10月29日に竣工式及び内覧会が開催されました。

竣工式で花田町長は「町と住民代表の方々と意見交換会や説明会を何度も開催し、地域との交流ができる、地域密着型の施設が完成した。皆さんから愛され地域に根付いた施設となることを期待しています」とあいさつ。

午後の内覧会には地元住民をはじめ100人の方が訪れ、「家の近くにあるので、年をとっても安心して暮らせる」、「これから施設を利用し、自分のことは自分でできるように元気で居続けたい」と話していました。

なお、いらお苑は11月1日に開所し、地域の方々に利用されています。

奈古の「幕末の志士」池田梁蔵と勘場日記を読み解く 歴史講演会

阿武町歴史講演会「奈古勘場日記と池田梁蔵」幕末の奈古の歴史を読み解く」が9月28日に町民センター多目的ホールで開催され、「東京ふるさと阿武町会」幹事長の三浦孝夫さん(埼玉県)を講師に迎え約70人が聴講しました。

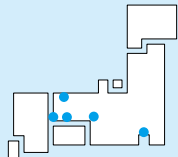
勘場とは、徳山藩領の奈古村と

大井村を治める藩の出先機関として置かれた役所のことです。現在の法積寺と了雲寺の中間あたりに設置されていました。その責任者として派遣された役人がつけた業務日誌が「勘場日記」です。講座ではこれを読み解き、幕末の動乱の時代を生きた池田梁蔵の生涯に沿いながら、奈古村で起きた事件や、ダイナミックな生き様を史実に基づき解説されました。

講座に参加した人からは「幕末に活躍した萩の志士に共通する行動力、憂国の気、進取の気に感銘を受けた。奈古にもこういう先達(せんたう)がいたことに誇りを感じる」との感想もあり、受講者は満足した様子で、閉会後の座談会でも歴史談義に花が咲きました。



講演をする三浦孝夫さん



「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。
hagi-network@city.hagi.lg.jp

会員投稿



10月20日 千春楽 (萩市)

明経中学校20期(昭和42年卒)同期会

昼夜の温度差が大きくなり、木々の緑が紅く染まり始めた今日この頃、全国に住む同級生の皆は如何でしょうか。

卒業後51年経過し、当初初々しく、ハツラツだった我々は白髪、しわ、はげ頭、猫背になり、老眼鏡、杖、薬などを常備する老いぼれの高齢者になった。

しかし久しぶりに会い、その長い年月を一気に飛び越し、背筋が伸び、頭皮の光は増し、声は大きくなり、ハツラツだった当時に甦り、青春真っ只中にタイムスリップする。

それは、素晴らしい一時を味わった楽しい時間。



萩市立明経中学校同窓会

次回、4年後の2022年、貴方も貴女もこの素晴らしいひと時に戻ってお出で！

和田稔(萩市椿東)

会員投稿



11月8日 萩グランドホテル(萩市)

萩商工高機械科昭和36年卒 「喜寿の集い」



萩商工高校M36年卒(喜寿の集い)

萩での「同期会」、3年前に続き、喜寿祝に合せ2回目を行いました。13名が参加、92歳御壮健な荒木先生をお招きしました。36年機械科は良く覚えているそうです。

昭和36年春82名、勇躍全国に飛び出し、以来57年、初めて会った人も懐かしさで一瞬にして昔の友に戻りました。運動会で高橋校長の顔の「張りぼて」を竹で作った思いで話など、また社会に出ての活躍に思いを馳せながら懇談し、お互いに元気を分かち合いました。合言葉は「元気でな！ また会おうよ！」でした。次回は傘寿を目指しています。世話役は、萩市・内田潔、関西・能美薫。

岡本諒洋 (福岡県)

会員投稿



12月1日 中国料理白楽天(大阪府)

萩光塩学院同窓会 関西支部



9月に予定していた同窓会が台風のために延期され、改めての開催となり、37名の出席がありました。1月23日が「光塩バザー」だったので、先生から懐かしい光塩ビスケットをいただき、調理室で焼いていた女学生時代に一気に戻り、当時の話で盛り上がりました。らせん階段など円型校舎の面影が感じられる新校舎の紹介、現高校生がスポーツに勉強に励んでいる姿のDVD上映など、懐かしさとともに強い絆でつながっている幸せを感じました。あつという間の3時間でした。

次は2年後の開催です。関西に限らず同窓生の皆様のご出席をお待ちしております。

支部長 庭屋和子 (大阪府)

会員投稿 

10月21日 海峡ビュー (下関市)

明木中8期(昭和29年卒) 同期会



明中卒業時には51名でしたが69年が過ぎ、同窓会への参加も激減し今回は11名となりました。東京や大阪在住の者も参加され、想い出話は深夜になっても尽きませんでした。

また、翌日は観光で関門トンネルの遊歩道や巖流島、門司レトロなどたくさんの思い出が出来ました。来年は傘寿(80歳)を記念して盛大に行う事を約束しました。

幹事は、松名政昭、山尾和男(下関市)、森野壽々子(福岡県)。
岡村善武(萩市明木)

会員投稿 

10月18・19日 (東京都内)

松陰先生江戸ゆかりの地を訪ねて

萩高10期(昭和33年卒)同期会



萩高10期生は、平成16年に松陰先生江戸護送路の箱根、平成27年に大河ドラマ「花燃ゆ」に因む伊豆・下田と、先生ゆかりの地訪問を行ってきましたが、今年の同期会は、東京で開き、江戸での先生ゆかりの地を訪ねてまいりました。

初日18日に東京・銀座キャピタルホテルに集合した同期生22名は、萩幹事の竹内さんの乾杯発声に始まる懇親のひと時を過ごし、翌19日、都合で不参加の人を除き、伝馬町獄跡から世田谷の松陰神社まで7か所のゆかりの地をバスで巡り、各々先生への思いを新たにしてきました。参加の皆様、遠路来京お疲れ様でした。

山口雄三(神奈川県)

会員投稿 

10月27日 日本工業倶楽部(東京都)

第51回東京指月会大会



昨年以前、在京合同開催や周年行事が続いていましたが、今年には特別行事がないながらも、多数のご来賓や遠方からの参加者を含め総勢180名を超える盛会となりました。引受期を中心に、先輩、後輩の協力を得て、無事挙行することができました。

今年のアトラクションは、京都在住の書道家、山根一生氏(萩高53期)を迎え、「郷友」という文字を表現していただきました。東京で生活しながらも持ち続ける萩高生の誇り、久々に旧友に会えた喜びなどを「共有」することができました。次回もまた多くの方の参加をお待ちしております。

引受期代表 萩高40期(昭和63年卒)森山里織さおり

会員投稿 

10月27日 ホテルサンルート(周南市)

つばき会周南支部



第15回つばき会周南支部総会と懇親会を10月27日に周南市で開催致しました。出席者は来賓と合わせて29人で楽しい集いとなりました。

総会は、校歌斉唱から始まり福井支部長の挨拶、宮村校長からの萩商工の今年度取組状況報告のお話がありました。懇親会では、ゲーム(魚釣り大会)等で盛り上がり、最後に万歳三唱で来年も再会を誓い終了致しました。

事務局 中村好男(光市)

情報アラカルト

関東地区

■「第60回記念 日本陶磁協会賞受賞作品展」

歴代受賞作家による秀作展、三輪和彦の作品が出品されます。

1月25日(金)～2月11日(月・祝)
東京都中央区銀座4・5・11
和光本館6階 和光ホール
(03・3562・2111)

■やまぐちと津和野 のんびりライフを知る・見る・楽しむ

山口県史連携都市圏域移住・定住プロジェクトチームによるイベント。地域おこし協力隊によるワークショップ、特産品が当たるクイズ、特産品・地酒の販売。

2月1日(金)・2日(土) 午前11時～午後7時30分(2日は午後6時30分まで)
*2日午後1時から秋市へ移住し、移動販売を創業した藤林真理絵さんによるトークセッション。
東京都千代田区丸の内2・7・2
KITTE地下1階
東京シティアイ

(問) 秋市地域づくり推進課
(08338・25・3360)

■「萩 傳流II・濫觴より」

岡田泰、坂悠太、玉村信一ほか3名の展示会。お茶会もあります。
2月5日(火)～11日(月・祝)

東京都新宿区新宿3・37・11 安与ビルB2階
柿傳ギャラー
(03・3352・5118)

関西地区

■三輪和彦「観自在―あたらしい和の愉しみ」

3月14日(木)～24日(日)
京都市中京区下御霊前町638・1
かづらせい寺町店
(075・253・2525)

九州地区

■「三輪和彦 個展」

1月15日(火)～20日(日)
福岡市中央区天神2・1・1
岩田屋三越 美術画廊
(092・724・3111)

秋市関係

■萩高校14期(昭和37年卒) 喜寿記念同期会

会費は1万円、2月28日までに申し込み。
4月1日(月) 午後6時～
萩市椿東385・8
萩本陣
(080・3058・2332)

世話人・野山

■萩しーまーと「長州サムライ市場」

「日本伝統工芸展・巡回展」

萩市内の入選者(陶芸 萩田裕、岡田泰、洪谷晃一、波多野善蔵、松尾藻風、松尾優子)。
1月2日(水)～20日(日)
高松市玉藻町5・5
香川県立ミュージアム
(087・822・0002)

1月23日(水)～29日(火)
仙台市青葉区一番町4・8・15
仙台三越
(022・225・7111)

2月6日(水)～11日(月・祝)
福岡市中央区天神2・1・1
福岡三越
(092・724・3111)

2月21日(木)～3月10日(日)
広島市中区上幟町2・22
広島県立美術館
(082・221・6246)

萩産あまだい雑炊無料試食(先着100名)、萩産サワラのフィッシュ&チップス無料試食(先着100名)、萩の郷土料理いとこ煮無料試食(先着50名) サムライめし特別販売など。

1月20日(日) 午前10時～
萩市椿東4160・61
道の駅萩しーまーと
(08338・24・4937)

■「開運なんでも鑑定団」出張! なんでも鑑定団in萩
テレビ番組でおなじみの鑑定が、

秋市のふるさと納税の返礼品に、「郵便局のみまもりサービス」が導入されました!

大切なご家族の毎月、毎日のみまもりを郵便局がサポート。郵便局のみまもりサービス

例えばこんな方に

生活状況について把握したい

頻繁に帰省することができない

人との会話で元気になってほしい



○みまもり訪問サービス

萩市で暮らす親御さんなどのご自宅に、郵便局社員等が毎月1回訪問し、生活状況を確認して、その結果をご家族等の報告先へお知らせするサービスです。(報告先は最大3件)

○みまもりでんわサービス

萩市で暮らす親御さんなどの固定電話等へ、毎日指定された時間帯に、自動音声電話をお掛けし、利用者の体調確認結果を、報告先にメールでお知らせするサービスです。(報告先は最大4件)

【寄付金額】

- みまもり訪問サービス (12か月) : 108,000円、(6か月) : 54,000円
- みまもりでんわサービス 【固定電話】(12か月) : 42,400円、(6か月) : 21,200円
【携帯電話】(12か月) : 51,000円、(6か月) : 25,500円

※「ふるさとチョイス」及び萩市ホームページ「ふるさと寄付特設サイト」からお申込みいただけます。
※ ふるさと納税の返礼品としてご利用いただく場合、確定申告を行うことで、寄附額のうち2,000円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除されます(所得等による一定の上限はあります。)



○郵便局のみまもりサービスに関するお問い合わせ先 【受付時間 平日 9:00～21:00 土・日・休日 9:00～17:00】
(固定電話から) 0120-23-28-86 (フリーコール) (携帯電話から) 0570-046-666 (通話料有料)

萩市で行われる。お宝の出品者(1月21日まで)、観覧希望者(2月20日まで)を募集中。

3月21日(木・祝)午後1時〜萩市江向495・1 萩市民館

*放送日は未定。

(問) 萩・明倫学舎

(0838・21・2018)

出版情報

■明治維新150年記念漫画「長

州ファイブ」

「学研まんがNEW日本の伝記

として、全国書店で販売(1月予定)。

まんが執筆 桐木憲一

制作 萩・明治維新150年記念

事業実行委員会

出版社 学研プラス

定価 980円(税別)

(問) 萩市企画政策課

(0838・25・3102)

新規(再)加入会員

金子好一郎	(山口市)	河野博	(福岡県筑紫野市)
大倉隆雄	(山口市)	池田好博	(福岡県宇美町)
山本弦	(下関市)	松浦雅裕	(福岡県福岡市)
岡博之	(山口市)	鈴木栄治	(福岡県北九州市)
伊藤健	(山口市)	大野益雄	(神奈川県横浜市)
清水広介	(山口市)	亀石一正	(埼玉県越谷市)
藤原清	(山口市)	松野寿啓	(神奈川県横浜市)
植村伊智郎	(山口市)	本山克巳	(栃木県宇都宮市)
大庭博子	(山口市)	吉光秀昭	(東京都新宿区)
木村康則	(山口市)	高橋伸治	(千葉県柏市)
藤井二三夫	(埼玉県幸手市)	中山恭子	(東京都西東京市)
齊藤雅典	(東京都三鷹市)	田野良子	(東京都町田市)
青本正樹	(神奈川県相模原市)	森谷正規	(神奈川県鎌倉市)
末益龍夫	(静岡県三島市)	近藤章	(静岡県三島市)
藤原寿美代	(山口市)	渡辺秀夫	(東京都江東区)
榎陽子	(千葉県流山市)	寺戸文隆	(千葉県市川市)
藤村毅	(愛知県名古屋市)	橋本悦子	(千葉県鎌ヶ谷市)
横田泰隆	(神奈川県横浜市)	阿部日佐夫	(下関市)
崎間紀子	(東京都調布市)	井町常輔	(萩市)
中澤明代	(千葉県千葉市)	末永幸一	(大阪府箕面市)
阿部慎一郎	(千葉県原市)	梶本和利	(愛知県名古屋市)
佐藤節子	(神奈川県川崎市)	岡弘	(萩市)

(10月18日〜12月10日 44人)

■「山口県ゆかりのお店ガイドブック」VOL8

首都圏で山口県を感じられる飲食店を紹介するガイドブックの第8弾。新規11店舗を含む159店舗の情報掲載。山口県産食材を使ったこだわりのメニューや県出身店主の人となりなどを紹介している。A6判、151頁。

おいでませ山口館(東京都・日本橋ラザビル1階)、山口宇部空港、新山口駅などで配布

(問) 山口県東京事務所

(03・3502・3355)

■読売新聞連載「維新150年」ブックレット

読売新聞で2017年4月から18年12月まで80回にわたり連載された「維新150年」をまとめた。定価 540円(税込)

別送送料 500円

1月中旬発行予定

(問) 読売新聞西部本社

(092・715・4354)

■入居者募集「うみかぜ須佐住宅」

「U・J・ターンの促進住宅 八幡(田万川)・川上」

萩市では、子育て世帯を応援する住宅と市外からのU・J・ターンの促進に特化した住宅の入居者を募集しています。募集戸数は各1戸、入居時期は、須佐4月以降、八幡・川上2月初旬。詳しくは萩市ホー

ムページをご覧ください。

(問) 萩市地域づくり推進課

(0838・25・3360)

■世界遺産「萩の産業遺産群2019年版カレンダー」

萩市世界遺産活用推進協議会では、15年の登録から3周年を記念して、萩市内に5カ所ある世界遺産の構成資産をテーマにした「萩の産業遺産群2019年版カレンダー」を作った。見開きA3サイズで、各月の写真は10〜17年に実施した「世界遺産フォトコンテスト」の応募作品から選んだ。

萩市外にお住まいの方を対象に、郵送販売します(500部限定)。

販売価格 800円(郵送料含む)

*銀行振込手数料は購入者の負担

16ページに写真を一部紹介。

(申込) 萩市文化財保護課

お知らせ

テレビ・ラジオ

■山中伸弥教授「文化講演会」

18年10月23日「萩・明治維新150年記念特別講演」として行われた山中伸弥教授の講演。テーマは「私の修行時代」。

放送日時 1月6日(日)午後9時〜10時、12日(土)6時〜7時

NHKラジオ第2放送

プレゼント

①世界遺産「萩の産業遺産群カレンダー」を3名様。

②「山口県ゆかりのお店ガイドブック」VOL8を希望者に。

■応募方法 ハガキに品名、住所氏名、電話番号、近況等を明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。1月30日必着。

編集後記

「明治150年に読みたい岩波文庫」から永井荷風「江戸芸術論」を読む。浮世絵の魅力が大正時代に綴った小冊子。荷風は、薩長など地方出身者による明治の文明を嫌い、江戸文化の情緒を愛した。その萩市に浮世絵・東洋陶磁専門の「山口県立萩美術館・浦上記念館」があるのは歴史の皮肉? 萩で浮世絵に親しめるのは、寄贈者の浦上敏朗さん(萩市名誉市民)のおかげ。

・秋話題の展覧会、フェルメール、東山魁夷を満員電車並みの中で鑑賞。東山魁夷の日本画は、東京美術学校の同窓生、萩出身の画家・村上景介の画風を思い出させる。

・ロックバンド・クイーンの映画「ボヘミアン・ラプソディ」、ドキュメンタリー「エリック・クラプトン」を見る。かつて聴いた曲が、頭の中で流れ続ける。18年11月はビートルズの「ホワイトアルバム」発売50周年だった。今もドライブのBGMの定番。2019年は「アビイロード」から半世紀。

(広報特別参写 山本章三)

ふるさと情報紙「萩ネットワーク」

萩ネットワーク協会 ☎0838・25・3178

全国のネットワーク会員に、年6回隔月で郵送
発行月 1・3・5・7・9・11月号
(1994年10月創刊)
会費 一般2,000円、特別賛助10,000円
会員数 1,574人(2018年3月末現在)



1月「雪がふり白く偏心反射炉」



世界遺産
「萩の産業遺産群
カレンダー」

販売価格 800円(郵送料含む)
申し込み 萩市文化財保護課
(0838・25・3835)



5月「維新の律動」



11月「鍵曲の一刻」

イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

1月10日(木)～3月31日(日)

◇萩まちじゅう味めぐり・萩温泉郷湯めぐりキャンペーン 市内各所

2月3日(日)～4月3日(木)

◇萩城下の古き雑たち 旧久保田家住宅ほか

2月16日(土)～3月21日(木)

◇萩・椿まつり 笠山椿群生林

2月中旬～3月中旬予定

◇萩往還梅林園まつり 萩往還梅林園

3月上旬

◇萩・しろ魚まつり 道の駅・萩しーまーと

3月中旬

◇萩の真ふぐまつり 道の駅・萩しーまーと



阿武町ふるさと
カレンダー
「空からの贈り物」

販売価格 700円(郵送料含む)
申し込み 阿武町まちづくり推進課
(08388・2・3111)

1月「惣郷鉄橋」

トワイライトエクスプレス瑞風

萩への立ち寄り観光スケジュール

2月17日(日)、3月31日(日)

8:40 東萩駅到着 / 12:08 萩駅出発(予定)

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838・24・2400

設備改修工事のため、11月26日から2019年3月31日(予定)まで休館します。

～2018年特選鑑賞室(浮世絵)展示から～



葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」
天保2～5年(1831～1834)
横大判錦絵



歌川豊国「初世松本米三郎」
寛政11年(1799)頃
大判錦絵

萩博物館だより

☎0838・25・6447

企画展「萩博 美のイッピン！」(第2期)

12月8日(土)～3月3日(日)

開館14年目を迎えた萩博物館では、寄贈・寄託いただいた資料を保管するために、18年3月に新収蔵庫が完成しました。貴重な資料から「美」をテーマに、陣羽織、雲谷派の屏風、松林桂月「白梅紅梅」(後期展示1月26日～)などを公開。

特別展「描かれた萩の大地」

3月16日(土)～5月12日(日)

萩出身の地質学者で画家の高島北海や南画家松林桂月の絵画や絵図に描かれた萩の大地を読み解く。



■観覧料 大人510円、高・大学生310円、小・中学生100円
■休館日 1月23日(土)～25日(金)(年末年始は開館)